

「ゼロカーボンシティふかがわ」宣言

2015年に採択されたパリ協定において、世界共通の長期目標として「産業革命前からの平均気温の上昇を2℃未満に抑えるとともに、1.5℃までに抑える努力を追求する」とされ、2018年に公表された気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の特別報告書では、気温上昇を1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要とされています。

そうした状況を踏まえ、我が国は2020年10月に、北海道は2021年3月にそれぞれ2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」「脱炭素社会の実現」を目指すことを宣言しました。

本市においても、先人たちの英知とたゆまぬ努力によって築き上げられた豊かな大地と美しい田園風景を守り、みんなで支え合い安心して住み続けられるまちを実現するため、市民の地球温暖化に対する関心と理解を深めるとともに、市民・事業者・市の協働により省エネルギー・省資源の取り組みを推進し、地球温暖化対策の更なる推進に向けた決意を示し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティふかがわ」の実現を目指すことをここに表明します。

令和5年3月2日

深川市長 田中昌幸